

PRESS RELEASE

報道関係者各位

A.L.C.貝塚学院 経営支援の詳細並びに、株式会社サンの経歴に関するご報告

2019年3月29日
株式会社サン

株式会社サン（神奈川県川崎市・代表取締役 織戸四郎 以下「サン」）は、有限会社アメリカンラングエイジセンター（神奈川県川崎市・代表取締役 坂本節子 以下「ア社」）が運営する A.L.C.貝塚学院（以下「A.L.C.」）の経営支援を 2019年3月29日に決定し、本日保護者に対する説明会を実施いたしました。

メディア関係者様も多数お越しいただき誠にありがとうございました。本日、幼稚園の継続に関する説明会におきまして、サンの会社情報や、支援の詳細についても、代表の織戸よりお伝えするべきところ、参加できなかったことをお詫び致します。

本来であれば、私も説明会に同席し、皆様の不安払拭に努めるべきところですが、その間に以前からお勤めいただいている先生方が離れてしまっただけで幼稚園の再建のしようがなくなるため、後ろ髪を引かれながらも、本日はそちらを最優先事項として対応させていただきました。先生方と面談をさせていただき、おかげさまで、ほとんどの先生方より今後も一緒に教育に取り組んでいただけるお約束をいただきました。

本日多数頂いた質問の一つでもあります。サンはア社と一切関係の無い企業です。同社との関わりは、幼稚園の支援を申し出てからの3日間しかありません。ア社の破産の話報道で拝見し、その後、手を挙げさせていただいたことが初めての繋がりです。『育てていただいた川崎市のためになれば』と支援を提案させていただいた次第です。

サンは、2004年よりデイサービスのさきがけとして、認知症の方に向けたデイサービス「ふるさと」を神奈川に50店舗展開してまいりました。2015年時点で、従業員も670名規模まで、成長させております。2015年に同社を「長谷工コーポレーション」に売却し、現在は、太陽光発電所の運営・損害保険会社の運営等の事業を中心に、経営をしております。

この度の支援の趣旨としては、まずは、継続運営の支援、その後、保護者の皆様との信頼関係が築けた後に事業を譲渡いただきまして、経営改善に取り組んでいく流れを検討しております。

なお、保護者の方より多数いただいた債権のご質問についてですが、現状、まだア社との関係性も3日しかなく、債権の実態把握やデューデリジェンスも行うことができていないため、現段階では債権をサンで引き受けるかどうかというお話はすることができません。今後、全てを明確にし、実態状況を把握してから、債権者の方に順次ご回答をしていく所存です。

何より、4月より園児の皆様が気持ちよく登園できる準備をすることが最優先と考え、支援を進めながら、デューデリジェンス並びに経営改善計画の設計を進めてまいります。

PRESS RELEASE

メディアの皆様よりいただきましたご質問は、サンの広報業務委託先であるアウル株式会社の WEB サイトに掲載しております。今後においては下記のサイトをご覧くださいませようようお願い申し上げます。

https://aur.co.jp/alc_sun/

A.L.C.園児保護者の方で、ご質問先に困られている方は、下記お問い合わせ窓口よりご質問をお寄せください。

<https://goo.gl/b3Cdob>

～本件の報道関係者様の問い合わせ先～

東京都港区赤坂 1-7-1 赤坂榎坂ビル 5F

アウル株式会社 「株式会社サン 広報事務局」

電話：03-5545-3888 メールアドレス：alc-ml@aur.co.jp